

## Web版「若手職員の声2008」- 第1回 -

所属課名：会計チーム会計係

氏 名：K . I .

性 別：男性

### 【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】

今まで使っていた馴染みのある問題集を何度も復習しました。既に学習し覚えていることも、新鮮な気持ちで取り組むことを心がけました。意外なところで間違えて覚えていたり、忘れていたりする箇所が見つかり、良い学習の仕上げになったと思います。

また、ニュースなどを見ている、気になったことは何でも自分なりに調べるようにしました。直前期は知らないことがあると不安に感じることも多くありましたが、知らないことは何でも調べてやろうという気持ちで、逆に勉強がはかどったような気がします。

### 【一次試験当日の話を聞かせてください。】

試験当日は、スーツか普段着どちらを着るか悩みましたが、着慣れている普段着で受験しました。私が受けた試験会場は、スーツの方がだいたい半分だったと記憶しています。他の受験者の方が迷惑に思わないような服装であれば、普段から着慣れている服装が良いのではないのでしょうか。とにかく、自分の実力が出し切れるような環境を作れるように、試験当日の準備を心がければよいと思います。

試験直後は、ミスをしてしまったことを思い出して落ち込む気持ちもありましたが、試験をやり切ったという充実感を強く感じました。あと少し、頑張ってください！

所属課名：研究協力部産学連携課

氏 名：S . S .

性 別：女性

**【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】**

私は、仕事をしながら受験勉強をしていたため、いかに効率良くメリハリをつけて勉強するかが鍵でした。直前期は、自宅では問題演習、移動時間や空き時間には暗記もの、というように区別して勉強を進めました。この時期に心がけるべきは、これまで解いてきた問題を繰り返し解き、基本をしっかり定着させておくことだと思います。試験の独特な空気にのまれて基本問題を落としてしまうのは本当にもったいないです。新しい知識を身につけることよりも、1問でも多く、確実に点数に結び付けるために叩き込む！これが重要です。

また、体調管理の面からは、ベストコンディションで試験当日を迎えられるよう、早めに朝型の生活に切り替えておくことをお勧めします。

**【一次試験当日の話を聞かせてください。】**

室温の変化に対応できるようにはおれる物を余分に持って行きました。また、当日は50分前に着いてしまい、会場の中に入れてもらえなかったため、他の受験生と同様に入り口付近のベンチに座って参考書を読みながら時間をつぶしました。天気が良かったので助かりましたが、あまり早く着きすぎてしまうのも考えものです。

試験を受けた後は、どうしても間違えた問題ばかりが気になってしまい不安で頭が一杯でしたが、他の基本問題で点数を取れているはず、と自分に言い聞かせました。

## Web版「若手職員の声2008」 - 第2回 -

所属課名：財務部契約課

氏 名：Y . T .

性 別：女性

### 【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】

国立大学法人等の試験は教養科目のみですが、私はその教養が全体的に苦手でしかも手薄でした。他の試験種の受験科目の勉強ばかりしており、日々の勉強時間配分は教養：法律＝2：8くらいだったと思います。

そんな私の勝因は、数的処理・判断推理・資料解釈と時事だけは毎日欠かさずやったことだと思います。毎日、これらの科目を合計して1時間半～2時間ほどやっていたと思います。

それ以外の科目については、予備校の主催する公務員試験の模試をたくさん受け、その直しを欠かさず丁寧にやっていたので、自分でも気づかないうちに力が付いていたのかもしれない。

### 【一次試験当日の話を聞かせてください。】

一次試験の自信があまりに無さ過ぎて、当日はむしろ非常にリラックスしていたことを覚えています。試験会場がなじみのある場所だったのもよかったです。もし試験会場が知らない場所なら、事前の下見もおススメです。

決まった時間に机にかじりついている毎日の気分転換のつもりで、いつもよりおしゃれをして、美味しい朝ごはんを食べて、楽しく出かけました。

会場では思いのほか緊張感が漂っていましたが、ほとんど私は緊張せず、試験開始までのわずかな時間は、『速攻の時事』だけをパラパラ読んでいました。

試験の手ごたえは、非常に難しかったという印象でした。

所属課名：人事労務課

氏 名：M . M .

性 別：女性

**【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】**

直前期はそれまでに勉強してきた内容の大まかな復習と、苦手分野の克服に重点を置いて勉強していました。新しいことを始めると、かえって焦ってしまって集中できないと思ったので、ある程度で見切りをつけて、それまでに勉強してきたことを、もう一度見直すことにしました。私は特に歴史の科目が苦手だったので、高校生向けの漫画の参考書を読んだり、苦手分野だけ集中して参考書を見直したりして、短時間で効率よく復習できるような学習を心がけていました（個人の学習のペースがあると思うので、参考にする場合は、この方法が自分に合うかどうかよく考えた方がいいかもしれません）。

**【一次試験当日の話を聞かせてください。】**

試験直後は、試験の手応えがあまり感じられなかったので、合格できるのかどうか不安な気持ちと、試験が終わってほっとした気持ちが入り交じっていて、とても複雑な心境でした。

試験当日は、スーツではなくてもよいと聞いていたので、自分で温度調整ができるような服装で臨みました。試験当日は幸いにも晴れていて暖かかったのですが、まだ春先で急に冷え込むこともあり得るので、試験に集中するためにも、自分で温度調節ができるような服装が良いと思います。

## Web版「若手職員の声2008」 - 第3回 -

所属課名：財務部財務管理課

氏 名：Y . K .

性 別：男性

### 【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】

直前期は暗記科目の演習を集中的に行いました。併願をする都合上、専門科目の学習に重点を置いていたため、一般教養の社会科学や人文科学は短期間で効率よくやらざるをえません。みなさんにも学校の定期試験で一夜漬けをした経験はあるでしょうが、短期間でやるほうがむしろ集中力が高まることもあります。私自身は電車の待ち時間や理論科目の演習の合間など、ちょっとした空き時間を利用していました。

数的推理と判断推理に関しては、試験当日を意識した演習が重要です。何分で何問というように目標を設定して解くことで、試験の形式に親しむというやり方です。より自信を深めるためには、これまでに解いた過去問をもう一度見直してみるのもよいでしょう。特に、大学職員の一次試験は教養試験のみで合否が決まるため、波の少ない一般知能は確実に点数源としたいところです。

### 【一次試験当日の話を聞かせてください。】

公務員試験に臨むのは二年目だということもあり、試験の準備はできる限りのことをしっていたつもりです。しかし、あろうことか一次試験の当日に時計を忘れるという失態をおかしてしまい、危うく試験対策を無駄にするところでした。幸い、前の席の方に腕時計が見える位置に置いていただき、時間を把握することはできましたが、試験直前の動揺はできるだけ避けるべきことは言うまでもありません。みなさんには反面教師にさせていただければと思います。

日頃の学習の成果をここでしっかりと発揮し、後の二次試験へのはずみにしましょう。頑張ってください。

所属課名：総務部人事課任用係

氏 名：K . T .

性 別：女性

**【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】**

一次試験の勉強に専念するため、1月に前職を退職しました。それまでは勉強時間ゼロで、公務員試験についての知識もゼロだったので追いつけるのかとても不安でした。

2月に入ってから、公務員試験大手予備校の教材を使い、1日10時間勉強しました。一次試験は試験範囲が広いので、得点しやすい数的処理や時事問題を優先して学習しました。

**【一次試験当日の話を聞かせてください。】**

実は、前日緊張のあまり眠れなくて、午前4時頃インターネットを開いたりしていました。当然、当日は寝不足で、食欲もなく、自信もなく。しょんぼりと会場に向かいました。みなさんも、万全の状態当日を迎えられなくてもだいじょうぶ！最後まであきらめないでください。

国家 種教養試験過去問で勉強をしている人にとっては、国立大学法人等職員採用試験は易しく感じると思います。

## Web版「若手職員の声2008」 - 第4回 -

所属課名：経済研究所

氏 名：A . N .

性 別：女性

### 【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】

苦手だった数的処理の勉強を集中的にしていました。使っていたのは予備校のテキストです。直前期には難しい問題にはあえて取り組まずに、基本的な問題を繰り返し解いて確実に解法を身につけられるようにしました。間違った問題には付箋をつけておき、解けるようになったら付箋を外していくやり方だと、付箋が減っていくのが楽しくてやる気が出ましたし、自信にもつながりました。時事を勉強するときは併せて教育系（特に大学に関すること）のニュースについてもまめにチェックしておいたほうが良いと思います。

### 【一次試験当日の話を聞かせてください。】

普段着慣れないスーツは避け、服装は普段着に近い格好でした。受験者の中にはスーツ姿の方もいましたが、全体でみると私服の方が多かったと思います。試験は自分のやってきたことをすべてぶつけるつもりで挑みました。

所属課名：学術・図書部学術情報課

氏 名：Y . S .

性 別：女性

### 【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】

当時すでに民間で働いており、時間に制約があったため2パターンの勉強法を行いました。一つは昼休みの30分や通勤時などの細切れの時間を、覚えることが多い科目（暗記が有効なもの）の学習に充てました。時間が限られている分、集中して取り組めたと思います。二つ目は帰宅後や週末などまとまった時間がとれるときは、苦手な科目や、じっ

くりテキストを読んで理解が必要な科目の勉強時間に充てていました。直前期は特に、問題演習と解説を読むことの繰り返しを何度も行いました。また試験の時間配分を体で覚えるために、2週間に一度位は予備校で模擬試験を受験しました。

### 【一次試験当日の話を聞かせてください。】

一次試験当日はラフな服装で受験しました。筆記試験では些細なことも気になってしまうので、なるべくリラックスした気持ちで受験できるよう、冷房が効きすぎたときのためのストールなどを準備していきました。大教室に100人程度受験者がいたと思いますが、模擬試験等何度か受験していましたので、さほど雰囲気を押される感はなかったと思います。

試験を受けた直後は、出来は半々ぐらいだと思っていました。しっかり学習した部分も出題されたので手応えは多少感じていましたが、出願倍率のことを思うと果たしてどうなるのかと不安でした。



## Web版「若手職員の声2008」-第5回-

### 【一次試験に向けて、直前期（4月～試験当日まで）どのような勉強をしていましたか？】

これまでの総復習として、公務員ジャーナルの直前号などを利用して重要項目の確認と演習をしました。好きな科目を中心に、とにかく問題を解きました。(会計チーム契約係 A.O. 女性)

出題範囲が広いので、直前は難易度の高すぎる問題に手をつけず、基本的な問題を必ず解けるようにしました。解けなかった問題に何度も取り組み、確実に解けるようにしていくことが自信につながると思います。(学務部教育企画課 N.A. 女性)

毎日近所の図書館で勉強していました。併願の試験も一般教養のみだったので、一つの分野を仕上げたらまた次の分野を仕上げ、試験直前には総まとめとして全ての分野の過去問を解いていました。勉強の合間には友人と会ったりしてリフレッシュするようにもしました。(企画室 A.N. 男性)

時事に関する問題や、人文に関する知識などを頭に詰め込んでいました。また、数的処理は毎日解いて慣れるように心がけていました。(学務部教育企画課 A.S. 女性)

### 【一次試験当日の話を聞かせてください。】

会場が現在の職場でした。都内ではあるけれど、ごみごみしておらず、空気が気持ち良かったことを覚えています。服装は普段着で行きました。(会計チーム契約係 A.O. 女性)

受験会場での待ち時間は自分のペースを崩さないように心がけました。ほとんどの受験者が私服だったので楽な服装で構わないと思います。(学務部教育企画課 N.A. 女性)

服装は私服で行きました。この時期は日によってはかなり暑くなる日もあるので、温度調整が出来る服装で試験に臨むと良いと思います。また、試験会場は知らない場所でしたので一時間前には会場の最寄り駅に到着していました。試験を受けた直後の感想は可もな

く不可もなくという感想でした。時間配分にだけは気を付けた方が良いと思います。(企画室 A . N . 男性)

スーツで受けている方もいましたが、面接をするわけではないので居心地のよい服装で受けた方がリラックスできると思います。

問題は回収されてしまい、また解答も発表されないのが合格発表まで少し不安でした。(学務部教育企画課 A . S . 女性)

**【二次試験対策及び当日の様子を教えてください。】**

私は、大学職員が第一志望だったので、以前から大学運営をテーマとする書籍をたくさん読み込んでいました。(特に、東洋経済新報社「競争に勝つ大学 - 科学技術システムの再構築に向けて」は参考になりましたのでオススメです。)最低限の二次試験対策として、志望する大学の中期目標・中期計画を読み込んで、自分がそのうちの何に貢献することができるのか述べられるようにする必要があります。(中期目標・中期計画は各大学のHPに載っています。)面接は、職員の方々と直接お話できる絶好の機会です。この方達と一緒に働いていきたい!と思う大学がきっとあるはず。是非とも、ホームページや説明会からは得られない情報を面接から得てください。

(総務部人事課任用係 K.T. 女性)

二次試験対策はとにかく足で稼ぐことを意識していました。インターネットで簡単に試験の情報を検索することはできますが、OBの職員に会って話を聞く、説明会に出席するなど積極的に動くことも大切です。せっかく機会を設けていただきお話を伺うとなれば、ある程度下準備をしていかなければなりませんし、その過程で志望の動機が明確になることもあります。

一口に大学職員といっても、面接の方法や面接会場の雰囲気は各大学法人によってさまざまです。面接官との相性も関係してくるでしょう。対策としては、とにかく場数をこなすことです。当然、みなさんも併願を考えているでしょうから、面接日程で迷うことがないよう下準備をしっかりと、一次試験合格発表後に行われる説明会までに優先順位を決めておくといよいでしょう。

(財務部財務管理課 Y.K. 男性)

**【今の仕事について、内容や担当を教えてください。】**

人事課任用係に所属しています。職員の採用・退職を取り扱う部署です。これから本学の職員となる全ての人が、最初に手続きをするところ。「良い大学に就職したなあ!」と喜んでいただけるように、親切かつ合理的な手続きのご案内を心がけています。

日頃の業務は、巨大な人事システム(人事系個人情報データベース)を使って進めま

す。

また、本学の学生のうち1割は留学生。窓口を訪れた外国の方に英語を使って説明する場面もあります。

コンピュータも、英語も、業務には色々な能力が必要とされる分、難しさもやりがいも大きいです。

(総務部人事課任用係 K.T. 女性)

現在、財務部で決算の業務を担当しています。意外と感じる方が多いかもしれませんが、会計を担当する職員は、“国の時代”との差異を意識することがとても多いのです。法人化後4年目に入った国立大学は、今まさに内外からその是非を問われています。

財務処理の適正性を維持しつつ、企業会計で一般的な概念である重要性の原則を取り入れ、業務改善を行っていくことは容易なことではありません。少額の取引であれば、億単位の工事請負契約などと同様の手続きとはせずに、できる限り簡素化して大学としての決定を迅速にするというのは良いことです。しかし、それによって会計報告がずさんになってしまうのであれば、国民に説明責任を果たすことはできません。国立大学に特有の新しい会計処理を起案するなど、受け身の姿勢では対応しきれないことも多々あります。財務部はお金の面から組織のあり方を考え、屋台骨を支えていく職場なのだと思っています。

(財務部財務管理課 Y.K. 男性)

**【二次試験対策及び当日の様子を教えてください。】**

「大学職員になったらどういったことを自分はしていきたいか？」ということを中心に、志望動機をはっきりと言えるように準備をしました。就職はゴールではなくスタートです。自分が職員になったときにどういう仕事をし、どういった点で大学に貢献できるか、と言うことをしっかり考えようとするれば、「大学職員の仕事」や「大学の業務」を調べないわけにはいかないはずです。また、世界情勢、経済情勢といったものも知っていなければ今後の大学の進度も理解できないと思います。とにかく自分が就職した後にどう働き、どう大学の発展を通じて社会へ貢献できるか、ということを考えることが大事だと思います。

(企画室 A.N. 男性)

出身校ではない大学を志望していたので、志望校の調査には時間をかけました。まず、説明会で頂いた志望校の資料を何回も読み、大学のHPもチェックし、大学の雰囲気を実際の目で確かめるために、実際に大学に行ってキャンパス見学もしました。説明会后にすぐに面接が始まり、準備等で忙しくなりますが、一度大学に足を運んでおくと、その大学で働いている自分の姿をイメージしやすくなり、モチベーションも維持できますし、面接試験当日も落ち着いて試験に臨めると思います。

面接では必ずと言っていいほど、志望動機やその機関に入ってやってみたい仕事についてきかれました。これらの問いに対して、自分の言葉で、自分なりの意見を言うように用意しておく必要があります。私が受験した機関は、面接が和やかな雰囲気に進んだところが多かったので、しっかり準備しておけば大丈夫だと思います。

(人事労務課 M.M. 女性)

**【今の仕事について、内容や担当を教えてください。】**

私の現在の仕事は大学の運営方針に関する企画・立案、調査・統計の集計、大学と地域との連携等に関する業務に係る庶務全般です。学内の他部署の方々とは調査・統計や予算の管理といった仕事を通じてほぼ全ての部署の方々とは直接、間接的に仕事をする機会があります。また他大学の運営方針の企画・立案、地域との連携の業務では教員の方々、そして県や市といった地域の方々とは仕事をする機会があります。仕事のやりがいとしては、色々

なことを学ぶことによって自分一人で出来る仕事が増えてくること、地域の方々と仕事をする中で感謝されたりすることです。苦勞としては自分の部署の仕事だけではなく大学全体のことを把握しなければ進められない仕事が多いので覚えることが多岐にわたることです。

(企画室 A . N . 男性)

現在は総務部人事労務課に属していて、福祉共済の担当をしています。仕事内容は、教職員から掛金を徴収して、その掛金で教職員やそのご家族の医療費を支払ったり、保険証の発行をしたりしています。学生の頃に想像していた大学職員のイメージとは異なり、学生と接する機会は殆どなく、教職員の方々としか接点がありません。また大学の運営といった観点からは、少しピンとこない業務内容かもしれませんが、教職員の方々とご家族が健康的な生活をおくれるようにサポートすることで、教職員の職務能率の向上につながっているのではないかと思います。

(人事労務課 M . M . 女性)

**【二次試験対策及び当日の様子を教えてください。】**

面接試験対策としては、想定問答集を作成しました。自分を印象づけるキーワードを2つほど用意しておく効果的かと思います。また、エントリーシートに記載したことを忘れてしまったときのため、コピーを用意しておく便利です。

試験当日は、しっかり睡眠をとり、リラックスを心がけました。待合室で、職員の方と少しお話ししたことでだいぶ気分が楽になったのを覚えています。

面接後は、自分について十分伝えることができたという満足感がありました。

面接で最も重要なことはコミュニケーションをとるとのことだと思います。生き生きとした表情・態度を心がけて頑張ってください！

(研究協力部産学連携課 S.S. 女性)

事前の準備としては、面接官に自分の考えを上手く伝えられるように、キーワードになりそうな言葉を整理して書き出す作業をしました。

試験当日はキャンパス内に同じような建物がたくさん建っていて、試験会場まで迷ってしまうことがあるかもしれません。実は私も遅刻しそうになりました…。事前に場所を調べて、時間に余裕を持って行くことをお勧めします。早く着いてキャンパス内を見て歩くことで、その大学や学生の雰囲気がわかるというメリットもあります。

二次試験はやはり緊張しましたが、本学の面接の雰囲気は和やかで、質問に対して自分の考えを正直に答えられたと思います。

(学務部教育企画課 N.A. 女性)

**【今の仕事について、内容や担当を教えてください。】**

私の所属する産学連携課産学連携管理係では、産学連携事務の総括及び事務調整、本学発ベンチャーの支援、メルマガ配信、受託研究員等の受け入れなどを担当しています。人事や経理も含め幅広い業務に携わることができるので、新人の私にとって大変勉強になります。

学生の方々と接する機会はほとんどありませんが、企業出身の教員、コーディネーター、そして専門性の高い職員の方々に囲まれ、日々良い刺激を受けています。産学連携という

先進的な分野に身を置き、本学の技術が社会に還元され、活用されていく一端を担えることにやりがいを感じています。

(研究協力部産学連携課 S . S . 女性)

学務部教育企画課で教育関係の補助金に係る仕事をしています。自分が学生の時にイメージしていた大学職員の業務とは違い、学生に接することはほとんどありませんが、新たな大学の一面が見られたと思います。

(学務部教育企画課 N . A . 女性)



**【二次試験対策及び当日の様子を教えてください。】**

2次試験対策は面接予定の1週間程前から、友人に頼んで何度か模擬面接をしてもらいました。過去にあまり面接の経験がなかったので、最初は「何を言いたいのかよく分からない」と友人に指摘されることが多々ありました。自分なりに志望動機等を紙に書き起こし、簡潔にかつ説得力をもった要点にまとめていきました。勿論、暗記しようとはせず自分が伝えたい核となる部分を意識して面接に臨みました。

当日はとにかく暑かったのを覚えています。暑さと緊張で汗だくでした。面接ではなるべく和やかに話ができるよう、自分の普段話す声の大きさより少し大きめにゆっくりと話しました。面接後はまだ緊張が続いていたせいか、あまり覚えていません。ただ、自分の熱意や気持ちをきちんと伝えられて良かったとは思いました。

(学術・図書部学術情報課 Y.S. 女性)

大学のホームページやパンフレットを細かくチェックしてから面接に臨みました。二次試験では集団討論・集団面接・個別面接があり、とても緊張しましたが自分を出すことに努めました。

(学務部教育企画課 A.S. 女性)

**【今の仕事について、内容や担当を教えてください。】**

現在の仕事は、附属図書館で購入した図書の目録をとり、所蔵データを付与し、請求記号ラベルを貼ったり利用に付するまでの仕事をしています。新刊本だけではなく、古い漢書なども扱うこともあり、本の世界の広さを日々感じています。私の仕事は学生や研究者の方々と直接接することはないですが、図書館ツアーなどでガイドをしたり、たまにカウンターに立つこともあります。

もともと図書館職員として働きたいと希望してこの職に就きましたが、図書館でのアルバイト経験すらもなく、最初は不安な気持ちがいっぱいでした。しかし、職場にはさまざまな図書館の分野に長けたプロの先輩方がいて、今は少しでも見習いたいと奮闘する毎日です。

(学術・図書部学術情報課 Y.S. 女性)

教育改革企画支援担当です。今はここで何が行われているのか理解していくことで精一杯です。

教員と接する機会が多くある印象です。  
(学務部教育企画課 A.S. 女性)

～ 番外編「ベテラン職員の声2008」 ～

私も20数年前を思い出しました。周りのみんなが話している言葉が理解できなかったり、話しの流れについていくこともできなくて、あとで先輩に聞いたり、調べてみたりして、自分なりになんとかしなければともがいていた頃がありました。でも実は、今でも同じなのです。新しい仕事を担当することもあるし、同じ業務のことでも周囲の条件が変化しているなど、発見や気づきの連続です。

最近、大学や教育に対して社会の関心も大きいですね。

教壇に立って学生さんに直接教える立場ではないけれども、高等教育政策動向の把握や必要な財源の確保・手続きなど、教員と連携して行っているのが、大学職員の仕事でもあります。

いろんな方とかかわりながら仕事ができるのが、大学職員の仕事の魅力の一つですね。

みなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしております。 (採用試験事務室長)

**【二次試験対策及び当日の様子を教えてください。】**

受かるはずがないという思い込みから、私は一次試験の合格発表の日時も忘れており（笑）合格発表日の夕方に自宅の郵便受けに入っていた合格通知に気づくまでは、何一つとして準備をしていませんでした。

大学で主催する面接セミナーにすら参加したことが無く、面接用の鞆も持っていなかった私は、とにかく焦りながらもすぐに各法人のHPを見てみましたが、いくつかの法人では既に面接予約が終了していました。

各機関合同の採用説明会以降は面接ラッシュでしたが、合間を縫って、自分の在籍していた大学の就職課に駆け込んだり、就活を終えた友達からアドバイスをもらったり、志望法人を訪問したりと最後まで諦めなかったことが、私の場合には功を奏したのだと思います。やれるだけやったということが自信になったのか、本学での面接ではほとんど緊張しませんでした。

（財務部契約課 Y.T. 女性）

一次試験とは違い、数ある法人の中から自らの意志で就職先を選ぶわけですから、それぞれ熱い気持ちがあると思います。その思いを伝えるためにも、法人のことをよく調べることが必要だと思いますし、自分がそこで何をしたいのかということもよく考えておく必要があると思います。

そして、相手に伝えるためにはバランスも大切だと思います。私は、調べ考えたことを全て文にした後、面接官に伝わりやすいように、なるべくシンプルな表現になるよう書き換えていきました。そして、うまく伝えられるように練習を繰り返し行いました。

面接を受けた法人の皆様には丁寧な対応をいただき、とてもよい緊張の中で面接を受けることが出来ました。とにかく、誠実に面接にのぞむことだと思います。

（会計チーム会計係 K.I. 男性）

**【今の仕事について、内容や担当を教えてください。】**

まだ私は仕事らしい仕事をしておらず、私などが契約課を語るには及びませんが、私から見た契約課というところは、外部の納入業者の方などがしょっちゅう相談、打合せや入

札などの為に訪問しており、外向的な印象を受けます。

本学は非常に大きな組織の法人なので、小さなものはボールペンをはじめたくさんの物品を購入（あるいは土地の賃貸借などを）する為に、さまざまな業者と契約を結んでいます。その膨大な物品のデータを登録、管理し書類を作成したり、落札に向けて業者たちが一般競争に参加する資格を審査する業務などがあります。

法人化した大学の限られた財力を有効に活用し、大学全体の財務を円滑に回し、更に将来につなげていくという任務は、いまだ私が体験したことが無いほど壮大なもののだと思います。

（財務部契約課 Y . T . 女性）

現在、会計チーム会計係に所属し、主にキャンパス内施設の環境整備・安全衛生についての業務を行っています。業務内容はキャンパス内の電話番号の移設や、実験施設の安全設備の点検など、多岐にわたっています。学生の方と直接顔をあわせるような、表立った業務ではないのかもしれませんが、法令遵守や社会的責任などが関わってくる、複雑ですがやりがいのある業務だと思います。まだまだ覚えることが多く、業者の方や、先輩にいろいろと教えていただきながら業務に取り組んでいます。

（会計チーム会計係 K . I . 男性）

**【二次試験対策及び当日の様子を教えてください。】**

志望動機、働きたい気持ちをちゃんと伝えられるように、自分なりによく考えました。実際に面接で答えたことはあまり具体的ではなかったのですが・・・。

当日はとにかく緊張しました。担当の方が、雰囲気や和らげるよう気を遣ってくださったのがありがたく、ここで働きたいという気持ちも強くなりました。

面接後は毎回凹んで帰っていましたので、電話が来たときはびっくりしました。

次の面接の連絡は結構早く来るので、当日面接終了後はいつでも電話に出られる状態にしていることをお勧めします。

(会計チーム契約係 A.O. 女性)

当日は時間に十分な余裕を持って行動することを心がけました。また、自分が大学で働いている姿をイメージしました。周りの受験者のことが気になるかも知れませんが、ここまで来たら自分の持っているものを信じるしかないので、自信を持って臨んでください。

(研究所事務部 A.N. 女性)

**【今の仕事について、内容や担当を教えてください。】**

契約係は、学生の方と接する機会の少ない部署です。主に、先生や業者の方と接することが多いのだと思います。まだまだ覚えることがたくさんあり、まだ実際の担当として働いてはいませんが、科学研究費補助金を担当する予定です。早く皆さんの足を引っ張らないようになるべく、毎日頑張っています。周りの方々が優しく、親切にしてくださるのでとてもありがたいです。

(会計チーム契約係 A.O. 女性)

私は、総務(人事関係)を主に担当しています。大学職員というと学生を相手にする仕事だというイメージを持たれている方が多いかも知れませんが、研究所では学生の対応をすることはほとんどありません。一番接する機会が多いのは研究所の先生方や職員の人たちです。仕事をしていてわからないことや悩むこともありますが、先輩や上司に恵まれているので、指導を仰ぎながら日々勉強という気持ちで業務に取り組んでいます。教職員の方の対応をされていて「ありがとう」というひと言をもらえると、これからもがんばろうと思えます。

(研究所事務部 A.N. 女性)